

 TOYO SUISAN

東洋水産から株主の皆様へ

東洋水産株式会社

第63期中間報告書

証券コード：2875

2010年4月1日～2010年9月30日



Smiles for All.

すべては、笑顔のために。



代表取締役社長 **堤 殷**
つつみ ただす

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り心より感謝申し上げます。

さて、当社第63期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期の概況（連結）

当中間期におけるわが国経済は、景気を持ち直しの兆しが見られるものの、雇用情勢については改善には至っておらず、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動等により景気が下押しされるリスクもあり、依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、

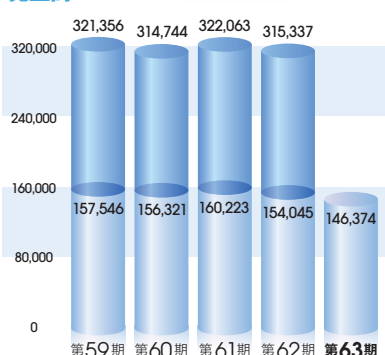
厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、売上高は前年同四半期に比べ 5.0%減収の 146,374 百万円、営業利益は前年同四半期に比べ 21.6%減益の 12,454 百万円、経常利益は前年同四半期に比べ 20.1%減益の 13,128 百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ 25.8%減益の 7,169 百万円となりました。

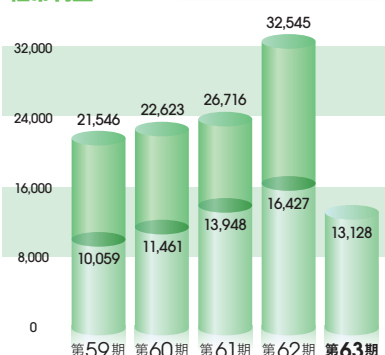
2010年12月

連結決算ハイライト

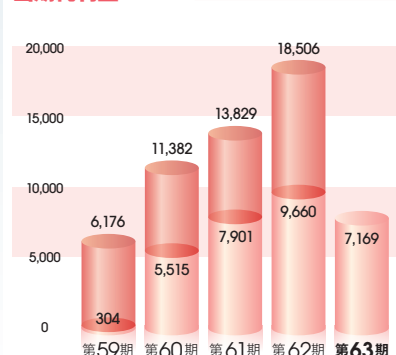
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)





国内即席麺事業



国内即席麺事業は、カップ麺は、「赤いぎつねうどん」「緑のためぎ天そば」「麺づくり」の基軸ブランドが堅調に推移し、今春から発売した提案型新ブランド「四季物語」と、昨春秋から発売した大盛サイズのオープンブライス商品「ごつ盛り」シリーズが市場に受け入れられ、売上を伸ばしました。袋麺は、昨年度ピークを迎えていた内食化傾向・低価格志向から消費トレンドが変化してきていることに加え、記録的な猛暑の影響もあり苦戦しました。その結果、売上高は43,008百万円となりました。利益面では、即席麺の需要維持・拡大のための販売促進費・広告宣伝費の増加、また新工場の設備投資に伴う減価償却費の影響によりセグメント利益は4,044百万円となりました。

低温食品事業



低温食品事業は、生麺では春から初夏にかけての全国的な低温、夏の記録的な猛暑という激しい気候変化の影響もあり、生麺類全体の売上はやや厳しい状況となりました。冷凍食品類については、主力品である冷凍うどん・冷凍そばが外食市況低迷の影響を受けましたが、ライスバーガー・冷凍野菜類が新規導入により順調に推移しました。その結果、売上高は33,605百万円、セグメント利益は2,531百万円となりました。

加工食品事業



加工食品事業は、レトルト米飯及び無菌米飯では既存品の販促強化と、鍋関連商材として「トマト鍋用スープ」、鍋のめ(しめ)に食べる「鍋用ライス」を発売いたしました。また、フリーズドライスープでは、「カップもずくスープ」に季節感を加えてリニューアルいたしました。その結果、売上高は9,160百万円、セグメント利益は296百万円となりました。

海外即席麺事業



海外即席麺事業は、海外経済の長引く不況の影響を受け、消費者の購買意欲が一層減少したこと、さらに円高の影響もあって、売上高は23,911百万円、セグメント利益は4,239百万円となりました。

水産食品事業



水産食品事業は、日本国内の消費者の低価格志向は依然として強く、厳しい価格競争が続きました。また、海老・鮭・カニ等は海外勢の強い買付需要を受け、円高傾向にも関わらず国内販売の利益を押し下げる要因となりました。このような状況の中、当社の得意商品を中心に、安全・安心でより消費者のニーズにこたえる商品開発を行い販売した結果、売上高は15,950百万円、セグメント利益は298百万円となりました。

冷蔵庫事業



冷蔵庫事業は、国内消費の低迷は一時期の状態から回復しつつあり、輸入貨物も少しずつ増加傾向にあるものの、依然として荷主の在庫圧縮傾向が続いていることから畜肉、水産物ともに在庫量は低位で推移しております。また、猛暑の影響によりアイスクリーム類の取り扱いが全国的に活発で、出庫が高水準で推移したことにより在庫が減少し、保管料収入を減収させる結果となりました。その結果、売上高は6,530百万円、セグメント利益は354百万円となりました。

その他事業

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は13,815百万円、セグメント利益は947百万円となりました。

事業セグメント別売上高構成比



1. 国内即席麺事業	29.38%	43,008 百万円
2. 低温食品事業	22.96%	33,605 百万円
3. 加工食品事業	6.26%	9,160 百万円
4. 海外即席麺事業	16.34%	23,911 百万円
5. 水産食品事業	10.90%	15,950 百万円
6. 冷蔵庫事業	4.46%	6,530 百万円
7. その他事業	9.70%	14,208 百万円

セグメント情報の区分及び測定方法について

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。そのため、前連結会計年度とセグメント情報の区分及び測定方法が異なっております。



連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (2010.9.30 現在)	前連結会計年度末 (2010.3.31 現在)	
資産の部	流動資産	111,068	108,609
	現金及び預金	32,459	31,134
	受取手形及び売掛金	36,716	39,004
	繰延税金資産	2,171	1,651
	その他	40,229	37,360
	貸倒引当金	△511	△543
	固定資産	117,282	120,633
	有形固定資産	99,321	101,709
	無形固定資産	1,998	2,169
	投資その他の資産	15,962	16,754
資産合計	228,350	229,242	
負債の部	流動負債	40,569	41,939
	固定負債	17,292	17,014
	負債合計	57,861	58,954
純資産の部	株主資本	174,955	170,350
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,516	22,516
	利益剰余金	141,566	136,951
	自己株式	△8,097	△8,086
	評価・換算差額等	△13,948	△9,340
	その他有価証券評価差額金	△215	364
	繰延ヘッジ損益	△637	197
	為替換算調整勘定	△13,095	△9,902
	少数株主持分	9,482	9,278
純資産合計	170,489	170,288	
負債純資産合計	228,350	229,242	

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2010.4.1～2010.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2009.4.1～2009.9.30
売上高	146,374	154,045
売上原価	91,510	96,580
売上総利益	54,863	57,465
販売費及び一般管理費	42,409	41,573
営業利益	12,454	15,891
営業外収益	845	884
営業外費用	170	348
経常利益	13,128	16,427
特別利益	87	21
特別損失	826	416
税金等調整前四半期純利益	12,389	16,032
法人税、住民税及び事業税	5,003	5,952
法人税等調整額	△128	△37
少数株主損益調整前四半期純利益	7,515	—
少数株主利益	345	457
四半期純利益	7,169	9,660

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2010.4.1～2010.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2009.4.1～2009.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,002	12,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,677	△13,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,694	△1,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,108	△1,915
現金及び現金同等物の増減額	3,522	△5,335
現金及び現金同等物の期首残高	46,545	49,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,067	44,202



緑のためき天そば 発売30周年



1980年8月に発売された「緑のためき天そば」が、今年、発売30周年を迎えました。これからも末永く愛されるブランドであり続けるために、私たちは全社一丸となって取り組みを進めてまいります。



最近の取り組み例

商品開発

2010年8月のリニューアル



常に新鮮な味わいをお客様に提供するため、コンビニエンス向け商品の開発など、きめ細かな商品戦略を展開しております。2010年8月にもリニューアルを行いました。つゆは、だしに用いる鰹荒節粉の熟処理工程をなくすことで、より豊かな鰹の風味が味わえるようになりました。また麺は、そば粉の配合を変えることで、より黒みのある、そばらしい親しまれる色になっております。

広報宣伝

武田鉄矢さんと榮倉奈々さんのコンビによるCMシリーズを展開



お馴染みの武田鉄矢さんによるテレビCMも、「緑のためき天そば」のロングセラーを支えてきた大きな要素です。2010年11月現在、武田鉄矢さんと榮倉奈々さんのコンビによるCMも2年目に入っております。現在は、武田鉄矢さんと榮倉奈々さんがだし職人とその弟子にそれぞれ扮し、「赤いきつねと緑のためき」のカップ麺としての完成度の高さをストレートにアピールしております。

営業

各地域の祭りに協賛し商品をアピール

「緑のためき天そば」を最前線でロングセラーへと導いてきたのは、販売活動を行っている営業部門です。日常的な営業活動はもちろんですが、博多どんたく港まつり、仙台七夕まつり、札幌のYOSAKOIソーラン祭りなど、各地域の祭りに協賛し、祭り限定バージョンの「赤いきつねと緑のためき」を販売したり、祭り開催期間中に特設ブースを設けて商品のアピールをするなど、様々な形態の営業活動に取り組んでおります。

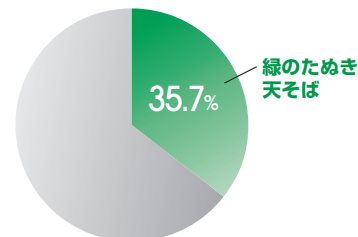


仙台七夕まつり
限定バージョン

「緑のためき天そば」のシェアは業界トップ

「緑のためき天そば」は、レギュラーサイズ丼型和風カップ麺(そばカテゴリー)で、業界トップのシェアを占めております。

レギュラーサイズ丼型和風カップ麺(そばカテゴリー)構成比



(株)インテージ MFI データより
【抽出条件】即席カップ麺、2009.11～2010.10、食数ベース、そばカテゴリー、丼型(容器)、普及型(サイズ)

30周年記念 キャンペーン展開中!

「緑のためき天そば」への日頃のご愛顧に感謝し、11月15日(月)より、「パナソニック3Dピエラ42型 ブルーレイ&HDD内蔵型3Dテレビ」などが当たる「マルちゃん 緑のためき30周年プレゼントキャンペーン」を実施しております。キャンペーンは商品パッケージ・テレビCMや当社ホームページなどで広く告知展開することで、さらなるファン拡大に努めております。



会社概要

創立

1953年3月25日

本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

資本金

189億6,952万円

従業員数

1,937人

事業所数

工場8、冷蔵庫13、

支店・営業所28

関係会社

33社(海外8社含む)

支店・営業所

- ◆札幌支店 (札幌支店、旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (名古屋支店、金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (福岡支店、沖縄営業所)

冷蔵庫

- ◆札幌冷蔵庫
- ◆石狩冷蔵庫
- ◆大井埠頭冷蔵庫
- ◆平和島冷蔵庫
- ◆城南島冷蔵庫
- ◆東扇島第一冷蔵庫
- ◆東扇島第二冷蔵庫
- ◆東扇島第三冷蔵庫
- ◆名古屋冷蔵庫
- ◆中部物流センター
- ◆神戸冷蔵庫
- ◆舞洲冷蔵庫
- ◆福岡冷蔵庫
- ◆佐賀冷蔵庫

役員 (2010年9月30日現在)

代表取締役社長	堤 殷
代表取締役専務	織田 睦彦
専務取締役	小畑 一雄
取締役	目羅 甚一
取締役	谷口 文夫
取締役	佐藤 勝英
取締役	山内 寛
取締役	山下 透
取締役	三浪 博行
取締役	菅原 謙二
取締役	手嶋 専市
取締役	吉野 廣治
取締役	近藤 英次
取締役	下井 敦美
取締役	及川 雅晴
取締役相談役	深川 清司
常勤監査役	北村 勝久
常勤監査役	南 守之
社外監査役	高良 明
社外監査役	森 勇

工場

- ◆札幌工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

主要グループ企業

国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社 ◆東洋冷凍株式会社
- ◆サンリク東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社 ◆東部貿易株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社 ◆石狩東洋株式会社 ◆ミツワデリー株式会社

海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆三幸養魚株式会社 ◆埼玉東洋株式会社 ◆湘南東洋株式会社
- ◆東和エステート株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆下田東水株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国)
- ◆株式会社いらご研究所 ◆青島味豊調味食品有限公司(中国) ◆仙波糖化工業株式会社*
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社

*持分法適用関連会社



株式の状況

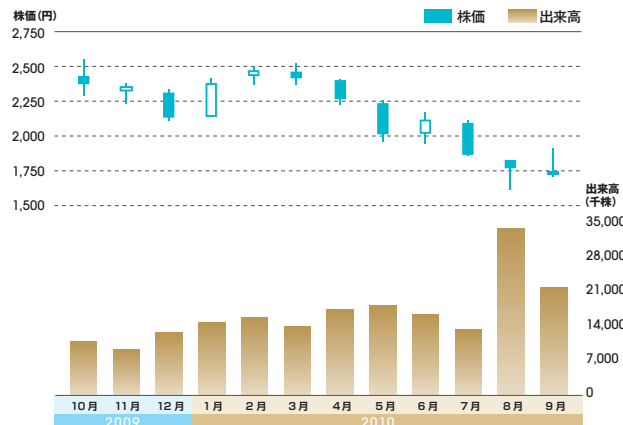
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株
 発行済株式の総数…………… 110,881,044 株
 株主数…………… 6,620 名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,512	6.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,391	6.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	5,299	5.18
株式会社三井住友銀行	2,935	2.87
ザチェース マンハッタンバンク エヌエイ ロンドン エスエル オムニバス アカウト	2,476	2.42
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2,014	1.97
マルちゃん持株会	2,003	1.96
ガバメント オブ シンガポール インベストメント コーポレーション ビーミテッド	1,821	1.78
株式会社榎本武平商店	1,659	1.62
東友会	1,590	1.56

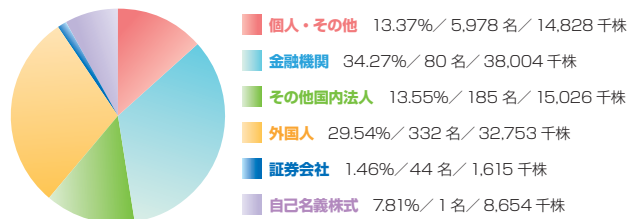
(注) 出資比率は自己株式(8,654,440株)を控除して計算しております。
 (注) 出資比率は小数点以下第2位未満を四捨五入して計算しております。

株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)

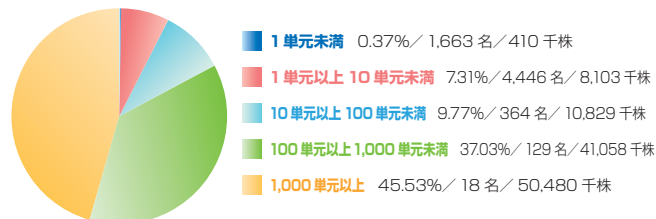


株式分布状況

所有者別



所有株数別



株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の自社製品を、それぞれ6月に進呈させていただきました。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに 日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

●株式に関する各種手続きについて

・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取りいただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

社会・環境についての取り組み

関東工場の事例



2010年1月、即席めんの新工場として関東工場(群馬県館林市)が竣工しました。当工場では持続可能な社会に向けて、環境や地域社会に配慮した様々な取り組みを行っています。

●環境への配慮

●屋上緑化

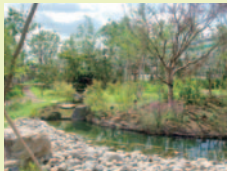
工場管理棟の屋上に芝生を植えています。建物内の温度上昇を防ぎ冷房を節約するだけでなく、CO₂を吸収する効果もあります。



●地域社会貢献への配慮

●ビオトープの設置

工場の敷地内には、様々な生き物がバランスを保ちながら自分の力で生きていける場所を再現したビオトープが設置されています。今後、自然環境教育の場としても活用される予定です。



上記は取り組みの一部です。

詳しくは、当社「社会・環境報告書 2010」をご覧ください。



社会・環境報告書 2010

当社ホームページからご覧いただけます。

当社では、2009年に「環境報告書」を発行し、環境負荷の現状及び低減に向けての取り組みを報告しました。2010年はステークホルダーとの関わりについてより充実させ、「社会・環境報告書」として発行しました。

<http://www.maruchan.co.jp/csr/reports/>